

婦人科検診

婦人科がん検診

赤羽東口病院では、女性医師による婦人科検診を実施しています。普段の健康診断に併せてのご受診や婦人科検診だけの受診も可能です。健診の内容につきましては以下の通りです。

子宮頸がん+乳がんセット検診

| | |
|-----------------------------|--------------|
| 子宮頸がん+ 乳がん (マンモグラフィ) | 9,350円 (税込) |
| 子宮頸がん+ 乳がん (乳腺超音波検) | 8,250円 (税込) |
| 子宮頸がん+ 乳がん (マンモグラフィ・乳腺超音波検) | 13,750円 (税込) |

子宮頸がん検診

子宮頸がんは女性特有のがんとしては、乳がんに次いで罹患率が高く、特に20~30代のがんでは第1位となっています。日本では、毎年約10,000人も女性が新たに子宮頸がんになり、約3,000人が子宮頸がんによって亡くなっています。大体、1日に約10人の方が亡くなっている計算になります。

しかし、早期に発見すれば、早期の治療により治癒する可能性が大きいため、そのためにはとにかく定期検診が大切です。

※オプション検査としてHPV検査も実施します。(HPV検査は、子宮頸がんの原因とされるウイルスを調べる検査です。)

メリット

- ・子宮頸がん検診により、がんが発生する前の異常な細胞の変化を発見しやすくします。これにより、がんの早期発見が可能となり、治療の成功率が向上します。
- ・早期発見により、治療成功の可能性が高まり、生存率が向上します。
- ・子宮頸がん検診は、がんの発症を防ぐための手段としても機能します。異常が見つければ、それに対する適切な処置が行われ、がんの進行を防ぐことができます。

デメリット

検査や治療にかかる費用が高額になる可能性があります。

乳がん検診

乳がん検診の方法には、視診・触診、超音波検査、マンモグラフィ検診などがあります。

メリット

- ・乳がん検診により、がんが発生する前の段階や初期の段階のがんを発見しやすくなります。これにより、がんの早期発見が可能となり、治療の成功率が向上します。
- ・早期に乳がんが発見された場合、治療がより効果的で成功しやすくなります。手術、放射線療法、化学療法などの治療法が適切に選択され、患者の健康を保つことが期待されます。
- ・早期発見と適切な治療により、生存率が向上します。がんが進行してから治療を始めるよりも、早期に治療を開始することが重要です。
- ・定期的な検診により、がんが発生する前の段階でリスクの高い変化が見つかり、適切な対策や予防策を講じることができます。

デメリット

検査や治療にかかる費用が高額になる可能性があります。

視診・触診

乳房全体を目で見て（視診）、あるいは手で触れること（触診）によって乳房の形、皮膚、乳頭などに異常は無いが、またしこりなどができていないかを確認します。脇の下や鎖骨上のリンパ節についても調べます。乳腺外科専門の医師なら、しこりの有無やその状態を触診することによって、「乳がんかどうか」がある程度は推察できます。自分では見つけられないような小さなしこりが発見されることもありますので、30歳を過ぎたら、年に1回は乳腺外科専門の医師による定期的な検診（視診・触診）をお受けになるよう、お勧めいたします。

乳房超音波検査

診察台の上に仰向けになり、乳房に超音波をあてて、乳房内部からの反射波（エコー）を画像化し、乳腺の状態を調べる検査です。乳腺は白く、がんは黒く描出されます。痛みは無く、体への負担はほとんどありません。数ミリの小さなしこりを見つけ、しこりの性状も詳しくわかる検査で、X線検査のような被爆が無いので、妊娠中の検査も行えます。ただし、細かい石灰化（カルシウムの沈着）や性状および範囲は確認できません。石灰化の良・悪性の判別に関しては、マンモグラフィの方が優れています。

マンモグラフィ検査

マンモグラフィは乳がんの早期発見のために、乳房をX線で撮影する乳がん検診機器です。少ない放射線の量で、乳がんの検出ができます。30代以降になると、乳がん罹患する女性が急増してきますので、30代以上の女性にはマンモグラフィも併用した乳がん検診を受けていただくのが望ましいところです。他の多くのがんと同様に、早期発見・早期治療をすれば、乳がんも今や治るがんと言えるからです。

マンモグラフィ検査（乳がん検診）について

検査台にのせた乳房を圧迫し、薄く（4～5cm）平らにして撮影するので、多少の痛みを伴う場合があります（個人差があります）。しかし、マンモグラフィ検査中ずっと長く圧迫しているわけではなく、数秒から10秒くらいです。

また、マンモグラフィ検査を併せて行った乳がん検診は、視・触診や超音波検査のみの検診に比べ、概ね2～3倍の確率で乳がんの発見が可能になると言われますので、ぜひマンモグラフィ検査も受けていただきたいと考えます。月経前は乳房が張って若干痛みを感じやすくなる方もおられますので、受診の際、気になる方は医師にご相談ください。

※マンモグラフィ検査に関してのご質問で、当院ホームページ内「よくある質問」にいくつか例がございますのでご参考にして下さい。

マンモグラフィによる乳がん検診でわかる病気

乳房をはさみながら圧迫して、上下・左右方向から撮影します。触ってもわからないような早期の小さな乳がんを、白い影や非常に細かい石灰化像として見つけることができます。また、良性腫瘍や、悪性とも良性ともつかないタイプも見つけることが可能です。

マンモグラフィ検診に当たっての注意事項

下記の項目に当てはまる方は、事前にお申し出ください。

しこりを触れたり、違和感を覚える箇所があったりする方

妊娠中、授乳中の方

ペースメーカーなどを利用している方

豊胸手術を受けたことのある方

ご予約受付・お問い合わせ

健診課にてご予約賜ります。

健診課予約専用電話：03-3902-2622

※午前は混雑するためお電話が繋がりにくくなっております。

お問い合わせは午後のお時間が比較的繋がりがやすいので、つながりにくい場合はお手数ですが、時間をおいてからご連絡下さい。



医療法人社団 景星会赤羽

赤羽東口病院

Akabane East Side Hospital